



長塚節 没後100年記念事業

「長塚節の顕彰について」 喜見山明議員

質問

常総市が生んだ明治の歌人「長塚節」に関しては、戦前から戦後に生誕・没後の顕彰事業が各地で実施されている。平成8年には長塚節文学賞を創設し、現在も続いている。市として記念事業実施を考えているのか。

答弁（教育部長）

長塚節の作品と節を生んだ地域の歴史風土を紹介するDVDの制作を計画している。制作後には、各種イベント等での上映、小中学校の授業教材として活用したい。没後100年記念事業については、関係機関と協議し、記念式典や企画展などの計画に向けて準備を進めていきたい。

質問

戦後の混乱でなくなった「土」の映画が見つかったようなので、ぜひ上映会等開催していただきたい。また、長塚節ゆかりの地と姉妹都市を考えてはどうか。そして、長塚節を学校教育にも取り入れてはどうか。

答弁（市長）

常総市は口ケのまちでもあり、

答弁（教育部長）

小中学生が長塚節文学賞に応募して多くの賞をいただいております。長塚節の学習にかかわっていると理解している。

質問

長塚節没後100年に絡めて企画を行えば、産業文化、6次産業に対しても常総市を売り込むチャンスにつながると思うが、市長の考えは。

答弁（市長）

常総市に多くの人が来てもらえればいろいろな産業にもプラスになるので考えてみたい。



長塚節生家

新校舎完成！ グラウンドはどうなる？



「石下西中学校のグラウンド整備の計画はあるのか」
遠藤 正 信議員



石下西中 正門付近の道路

質問

雨天時には、正門付近の一般道路からの雨水がプール南側雨水升からあふれ、グラウンド南側が水浸しになる。学校敷地内に雨水等が浸入しないよう整備できないか。

答弁（教育部長）

平成26年度に正門付近の道路改良工事のための予算を計上し、側溝の整備なども実施する計画である。これにより一般道路からの雨水流入はなくなると考える。

質問

街路樹はどうするのか。

答弁（教育部長）

街路樹は伐採し、西側に歩道を整備したいと考えている。

質問

グラウンドの暗渠排水と低地の整備が必要と考えるがどうか。

答弁（教育部長）

震災後に盛り土による整備も検討したが、学校再開を優先し見送った経緯がある。暗渠工法による排水対策も有効な手段ではあるが、他校の整備状況、工期・事業費等を総合的に検討し、今回の整備は簡易改良・舗装復旧ということにした。

答弁（教育部長）

25年度の外構工事でグラウンド外周のU字溝を清掃し、今年さらにグラウンドの簡易改良を実施する予定。これらによりグラウンドの状況は改善すると考

質問

東日本大震災から約3年になるが、石下西中学校の校舎及び屋内運動場が完成し、大変感謝している。液状化したグラウンドは、表面をならしてもらったが、いったん雨が降るとしばらく使用できない状態となってしまう。整備計画はあるか。